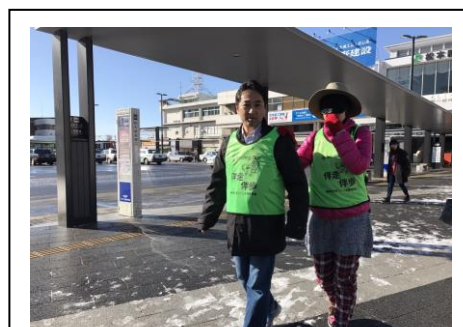


平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	視覚障害者と伴に走り伴に歩くことをとおして心と体の健康をめざす「しあわせ健康づくり」事業
事業主体 (連絡先)	信州 伴走・伴歩協会 TEL.0263-33-4079 FAX.0263-88-3765 〒390-0866 長野県松本市城山 7-22
事業区分	保健・医療・福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	931,156円 (うち支援金: 698,000円)

事業内容

- ・視覚障がい者の運動機会を増やす目的で伴走者・伴歩者育成のため月1回第4日曜日に定例会を開催し「見えない体験会」も実施し、トレーナーに運動指導を受けた。
- ・一般理解者及び視覚障がい者の参加を増やすため、体験会を9、10、2月に開催した。
- ・伴走・伴歩アドバイザー養成講座を3月に実施した。
- ・伴走者・伴歩者と視覚障がい者をつなぐためと一般理解者を増やすためのホームページの開設、ブログの発信、SNSの利用を実施した。



【2/19 街中体験会】

【目標・ねらい】

- ①伴走者、伴歩者を増やす
- ②参加する視覚障がい者を増やす
- ③視覚障がい者と伴走、伴歩者をつなぐネットワークの構築
- ④視覚障がい者に会った時のマニュアルづくりと普及

※自己評価【 B 】

【理由】

1年だけで結果が出るものではないので目標人数に達しなかったことを除けば着実に普及活動はなされている。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・1年やってきて理解者が増えていることと視覚障がい者にも存在が広まって来た。のべ参加者 150人
- ・マスコミへの発信などもしつつ、視覚障がい者に会った時の対応の仕方など初心者向けのレシピ開発が出来た。のべ参加者 66人
- ・安全を重視し、より社会的意義を意識した人達が現れた。受講者 7人
- ・フェイスブックページの開設に始まり、ホームページの開設、ブログによる発信は今の情報化社会には欠かせないアイテム。双方向のやりとりについては持っている電話機によるが意思表示がしやすくなっている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

学校や企業、地域などで「見えない体験」を実施し、視覚障がい者についての理解を深め、広めて行き、理解し活動に加わってくれる人を更に増やす。
視覚障がい者を見つけた時に自然と声掛けが出来る人が増えることは他人に温かな目を向ける社会の実現となり、外国人観光客の受け入れなどにも繋がるものと思う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)